

標識調査で確認された鳥類の特殊な個体変異

梶田 学(京都府)

鳥類標識調査中、バンダーの常識からはずれる変な個体が希に捕獲されることがあります。そのような個体は、種や性の判別にとまどうことも多いものです。参考までに、これまで捕獲された特殊な個体変異の例から、いくつかを紹介します。

< 尾羽の枚数異常 >

ウグイス ・1stY 2K28419(1996/12/26 沖縄県与那国島)

:尾羽が 12 枚ある

・センニュウ類やムジセッカ類などとの識別に注意を要するかもしれません

ベニヒワ ・Adult 1B19469(1996/5/12 北海道焼尻島)

:尾羽が 14 枚ある

< 羽色の異常 >

キビタキ 性不明・1stW 1C15863(2001/09/16 京都府大文字山)

:第一回夏羽のような羽毛が一部にある

(腰黄色、尾羽基部側半分が黒色、GC・MC 黒色)

キビタキ 性不明・幼羽から 1stW へ換羽中 1D45712(2003.08.11 京都府芦生)

:第一回夏羽のような羽毛が一部にある(腰黄色、GC 黒色)

オオルリ ?・1stW 2L20932(2002/08/16 京都府芦生)

:尾に青い羽毛がある(右-T1,5,6、左-T1~6、その他の部分は 的な羽色)

オオルリ ・1stW 2T08634(2003/09/15 京都府芦生)

:頭部に青い羽毛(外縁は褐色のふちどり)がある

ベニマシコ 性不明・1stW 2P25177(1999/11/04 新潟県福島潟)

:オレンジ色の羽色をしている

・同様な羽色の第一回冬羽個体(ガラス窓衝突死)を解剖したところ精巣が確認され であることが判明(1例)

< 体サイズ異常 >

カシラダカ ・Adult 2T81399(2003/11/01 京都府芦生)

:矮小個体(自然翼長 68.61mm、ふしよ長 17.40mm、全頭長 27.76mm、鼻孔前端からの嘴長 7.38mm、尾長 T1;50.0mm、T3 最長尾長;52.5mm、体重 15.9g)

・自然翼長、ふしよ長、尾長、体重は、鳥類標識マニュアル(識別編)掲載のカシラダカ ・成鳥測定値の最小値よりも小さな値を示す。